

女子栄養大学(非) 三善勝代 川鉄病院附属高等看護学院(非) 小保方稔子
○お茶の水女子大家政 鶴沢由美子 共栄学園短大生活学科 山田祐子

【目的・方法】第1報に同じ。本報告では、開業(当該就労の開始)の諸様相について述べる。すなわち、開業の決意時期及び開業時期、動機、準備期間、準備の内容、人数、開業形態、開業資金、事業所所在地、仕入れ先の発見、確保、開業時のPR方法、事業が軌道に乗るまでの期間、開業時の家族の協力についてである。

【結果】調査対象の範囲が広く、仕事内容も多岐に渡り、「準備期間」「軌道に乗る」などの項目のとらえ方、意味内容にばらつきが見られたが、次のような点が指摘できる。①開業の動機について：回答者の関心、キャリアといった「内発的動機」、人や事物との出会いなどの「外発的動機」、夫の定年や子離れといった「家族に関わる動機」の3つに大別できた。開業に至るまでに、「内発的動機」が動機の根幹を成し、「外発的動機」がそれを引き出す役割をし、「家族に関わる動機」が後押しをするといった関連性が、多くのケースに見られた。②ネットワークの重要性：開業するにあたって、血縁者や知人のネットワークが重要な働きをしているケースが多く見られた。まず、家族の協力が、資金、事業所準備などのハード面から、仕事、家事の手伝いなどのソフト面にいたるまで、目立っていた。たとえば、開業資金を全額家族が負担したのは7ケースであり、その最高額は2億5千万円であった。他に、一部を家族が負担したのは5ケースであった。次に、仕入れ先の確保、開業時のPRなどに際し、友人・知人・家族・開業までのキャリアで築いた仕事仲間や取引先などのネットワークが効果をあげていた。PR方法に「チラシ」と共に一番多く挙げたのが「口コミ」であったのもその表れである。